

書 写

書写の目標等について
<p>【教科の目標】 国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕のうち、書写に関する事項 〔第1学年〕 ア 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 イ 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くこと。 〔第2学年〕 ア 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 イ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 〔第3学年〕 ア 身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書くこと。</p>

【参考】

- 国語科については、その課題を踏まえ、小学校、中学校及び高等学校を通じて、言語の教育としての立場を一層重視し、国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるとともに、実生活で生きてはたらき、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を身に付けること、我が国の言語文化を享受し継承・発展させる態度を育てることに重点を置いて内容の改善を図る。
特に、言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することや、我が国の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視する。
そのため、現行の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」からなる領域構成は維持しつつ、基礎的・基本的な知識・技能を活用して課題を探究することのできる国語の能力を身に付けることに資するよう、実生活の様々な場面における言語活動を具体的に内容に示す。また、現行の〔言語事項〕の内容のうち各領域の内容に関連の深いものについては、実際の言語活動において一層有機的にはたらくよう、それぞれの領域の内容に位置付けるとともに、必要に応じてまとめて取り上げるようにする。
また、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を設け、我が国の言語文化に親しむ態度を育てたり、国語の役割や特質についての理解を深めたり、豊かな言語感覚を養ったりするための内容を示す。
- 子どもたちの発達の段階を踏まえた学習の系統性を重視し、学校段階・学年段階ごとに、具体的に身に付けるべき能力の育成を目指し、重点的な指導が行われるようにする。その際、小学校においては日常生活に必要な国語の能力の基礎を、中学校においては社会生活に必要な国語の能力の基礎を、高等学校においては社会人として必要な国語の能力の基礎をそれぞれ確実に育成するようにする。
- 古典の指導については、我が国の言語文化を享受し継承・発展させるため、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する指導を重視する。
漢字の指導については、実生活や他教科等の学習における使用や、読書活動の充実に資するため、確実な習得が図れるよう、指導を充実する。書写の指導については、実生活や学習場面に役立つよう、内容や指導の在り方の改善を図る。
敬語の指導については、人間関係を円滑にし、日常の言語生活を豊かにするため、相手や場に応じた言葉遣いが適切にできるようにすることを重視する。言葉のきまりの指導については、系統的に指導するとともに、実際に文章を書いたり読んだりするときなどに役立つよう、指導の改善を図る。
読書の指導については、読書に親しみ、ものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めたりするため、読書活動を内容に位置付ける。教材については、我が国において継承されてきた言語文化に親しむことができるよう、長く読まれている古典や近代以降の作品などを、子どもたちの発達の段階に応じて取り上げるようにする。
- 標準授業時数
書写の指導に配当する授業時数は、第1学年及び第2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度とすること。

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1～3学年	書写731	新編 新しい書写 一・二・三年
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 筆順の原則に注意して書いたり、行の整え方を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～ 配列に気を付けて書いたり、楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 情報を整理してノートに書いたり、場面に応じて文字を使い分け願書を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画の連続や省略に注意して書いたり、楷書と行書の筆使いの違いを確かめて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～ 字形を整えて書いたり、配列に気を付けて書いたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 書体を工夫してポスターを書いたり、絵はがきを書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 毛筆の学習の後に、「広げよう」において、硬筆による平仮名や片仮名で好きな言葉を書く活動</p> <p>第2学年～ 毛筆の学習の後に、「広げよう」において、硬筆によるポスターなどの掲示物を書く活動</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かして、「広げよう」において、効果的にノートに情報を書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「生活を豊かにする文字」において、職場訪問の依頼状やお礼の手紙を書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第2学年～ 「生活を豊かにする文字」において、防災訓練の計画書を書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3学年～ 「生活を豊かにする文字」において、文化祭の展示作品を作るなど、実生活との関連を図った活動</p>			
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書と仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書の字形の整え方を学習した後に、行書の配列や配置を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 多様な文字について学習した後に、場面や相手に応じた文字の使い分けを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページは、145ページで、前回より約36%増となっている。 			
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さんちき」や「走れメロス」、「竹取物語」など、国語科との関連を図った教材を掲載している（全学年）。 ・各学年の内容に関連した文字や書写の知識に関する内容をコラムの形で取り上げた「しょしゃのたね」を掲載している（全学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方について、「調べよう」、「確かめよう」、「広げよう」の三段階に分けて学習内容や手順を示している（全学年）。 ・生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に「いろいろな書式」や「書写テストに挑戦！」を掲載している（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学習の見通しをもつことができるよう、目次に学年における書写のねらいを掲載している（全学年）。 ・生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、見やすい配色や文字の大きさにするなど、工夫されている。 			

番号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	11・学図	第1～3学年	書写732	中学校 書写
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画の連続に注意して書いたり、楷書と行書の違いを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～ 筆脈に気を付けて書いたり、目的や場面に合った書体を考えたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 職業体験の礼状や年賀状を書いたり、筆記用具を工夫して壁新聞を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 筆順や字形に注意して書いたり、仮名と調和させて漢字を書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～ 行書の筆使いを調べて書いたり、楷書との違いに気を付けて書いたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 筆記用具を工夫して掲示物を書いたり、のし紙を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心を持ち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 毛筆の学習の後に、「硬筆で書いてみよう」において、硬筆による古典の歌やことわざを書く活動</p> <p>第2学年～ 毛筆の学習の後に、「硬筆で書いてみよう」において、硬筆による古典の文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かして、「書写を生活に生かそう」において、筆記用具を工夫して寄せ書きを書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「確かめよう」において、ことわざや文学作品の一部を書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第2学年～ 「確かめよう」において、お知らせのポスターを書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3学年～ 「作品を作ろう」において、近代の短歌を書いた短冊を作るなど、実生活との関連を図った活動</p>			
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書の仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書の点画の連続を学習した後に、行書と平仮名の調和を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 毛筆と硬筆の使い分けを学習した後に、短冊などの作品づくりを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総ページは、122ページで、前回より97%増となっている。 			
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「竹取物語」や「少年の日の思い出」、「枕草子」など、国語科との関連を図った教材を掲載している（第1・2学年）。 ・各学年の内容に関連した文字や書写の知識に関する内容をコラムの形で取り上げた「書写の窓」を掲載している（全学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方について、「試し書き」、「練習」、「まとめ書き」、「硬筆で書く」の四段階に分けて学習内容や手順を示している（全学年）。 ・生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に学習事項に関連した教材や資料を集めた「資料編」を掲載している（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学習の見通しをもつことができるよう、巻頭に「なぜ毛筆で学習するの？」を掲載している（全学年）。 ・生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいレイアウトにするなど、工夫されている。 			

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取 扱 内 容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>15・三省堂</p>	<p>第1～3学年</p>	<p>書写733</p>	<p>現代の書写一・二・三</p>
<p>内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等</p>	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 筆順の原則に注意して書いたり、漢字と仮名の調和を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～ 行書と仮名を調和させて書いたり、立て看板に適した書体を考えたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 文字を使い分けて広告を書いたり、紙や筆記用具を工夫して掲示物を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画の変化や連続に注意して書いたり、仮名の字形と筆使いに気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～ 筆順を確かめて書いたり、楷書との違いを考えて書いたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 文字の使い方を工夫してポスターを書いたり、掲示物を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 毛筆の学習の後に、「学習のまとめ」において、硬筆によるノートに横書きで文字を書く活動</p> <p>第2学年～ 毛筆の学習の後に、「学習のまとめ」において、硬筆による文学作品の一部を書く活動</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かして、「学習のまとめ」において、効果的にポスターを書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「生活に生かそう」において、行事の目標や本の帯を書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第2学年～ 「生活を生かそう」において、色紙に自分の座右の銘を書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3学年～ 「生活に生かそう」において、自分で選んだ言葉を書いた卒業記念冊子を作るなど、実生活との関連を図った活動</p>			
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「竹取物語」や「小さな手袋」、俵万智の短歌など、国語科との関連を図った教材を掲載している（全学年）。 ・各学年の内容に関連した文字や書写の知識に関する内容をコラムの形で取り上げた「筆順の原則と意義」を掲載している（全学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方について、「考えよう・話し合おう」、「書いて確かめよう」、「振り返ろう」の三段階に分けて学習内容や手順を示している（全学年）。 ・生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に学習事項に関連した教材や資料を集めた「資料編」を掲載している（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学習の見通しをもつことができるよう、巻頭に「自分の文字や書き方をよりよくするために」を掲載している（全学年）。 ・生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、色の使い方や色覚特性に配慮するなど、工夫されている。 			

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1～3学年	書写734	中学書写
<p>取扱内容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画の特徴に注意して書いたり、点画の連続を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～ 配列を理解して書いたり、目的や場面に合った書体を考えたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 文字表現を工夫して手紙を書いたり、書体を工夫してカレンダーを書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画の筆使いや字形に注意して書いたり、仮名と調和させて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～ 点画の連続に注意して書いたり、配列に注意して書いたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 行書と仮名を調和させて俳句を書いたり、卒業記念作品を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 毛筆の学習の後に、「学習を生かして書く」において、硬筆による古典の文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>第2学年～ 毛筆の学習の後に、「学習を生かして書く」において、硬筆による古典の文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かして、「学習を生かして書く」において、配列に気を付けて古典の文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「学校生活に生かして書く」において、合唱発表会のポスターや案内表示を書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第2学年～ 「学習活動や日常生活に生かして書こう」において、発表会の立て看板を書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3学年～ 「身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書こう」において、メッセージカードを作るなど、実生活との関連を図った活動</p>			
<p>内容の構成・排列、分量等</p>	<p>○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <p>第1学年～ 楷書や仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆脈を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第2学年～ 行書の点画の省略を学習した後に、行書と仮名の調和を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>第3学年～ 行書の点画と連続について学習した後に、自ら選択した課題を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫</p> <p>○ 内容の分量については、次のようになっている。</p> <p>・総ページは、142ページで、前回より約26%増となっている。</p>			
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <p>・「竹取物語」や「枕草子」、「おくのほそ道」など、国語科との関連を図った教材を掲載している（全学年）。</p> <p>・各学年の内容に関連した文字や書写の知識に関する内容をコラムの形で取り上げた「あの人が残した文字」を掲載している（全学年）。</p> <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <p>・学習の進め方について、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」の三段階に分けて学習内容や手順を示している（全学年）。</p> <p>・生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に学習事項に関連した教材や資料を集めた「補充教材集」を掲載している（全学年）。</p> <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <p>・生徒が学習の見通しをもつことができるよう、巻頭に「書写学習の構図」を掲載している（全学年）。</p> <p>・生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。</p> <p>・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいレイアウトにするなど、工夫されている。</p>			

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
<p>取 扱 内 容</p> <p>学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等</p>	<p>38・光村</p>	<p>第1～3学年</p>	<p>書写735</p>	<p>中学書写 一・二・三年</p>
<p>内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等</p>	<p>○ 硬筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 字形の整え方に注意して書いたり、配列を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書や行書で書く。</p> <p>第2学年～ 行書の特徴に気を付けて書いたり、楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 身の回りの文字を調べて掲示物を書いたり、筆記用具を選択して作品を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 毛筆については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。</p> <p>第1学年～ 点画の変化や連続に注意して書いたり、楷書と行書の筆使いの違いに気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く。</p> <p>第2学年～ 筆使いに気を付けて書いたり、楷書との違いを考えて書いたりする活動を通して、行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。</p> <p>第3学年～ 書体を工夫して掲示物を書いたり、卒業記念作品を書いたりする活動を通して、身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。</p> <p>○ 硬筆と毛筆の関連については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 毛筆の学習の後に、「楷書と仮名のまとめ」において、硬筆による文学作品の冒頭を書く活動</p> <p>第2学年～ 毛筆の学習の後に、「行書と仮名のまとめ」において、硬筆による古典の文学作品の一部を書く活動</p> <p>第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かして、「学習したことを生かして書こう」において、効果的に卒業記念作品を書く活動</p> <p>○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <p>第1学年～ 「楷書と仮名のまとめ」において、植物の観察日記の一部を書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第2学年～ 「楷書と行書の使い分け」において、音楽祭を知らせるポスターを書くなど、実生活との関連を図った活動</p> <p>第3学年～ 「未来に向かって」において、選択した筆記用具を効果的に使って書いた自分史を作るなど、実生活との関連を図った活動</p>			
<p>使 用 上 の 配 慮 等</p>	<p>○ 学習意欲を高める工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さくらさくら」や「平家物語」、「枕草子」など、国語科との関連を図った教材を掲載している（全学年）。 ・各学年の内容に関連した文字や書写の知識に関する内容をコラムの形で取り上げた「文字の歴史は残る」を掲載している（全学年）。 <p>○ 主体的に学習に取り組むことができるような工夫については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方について、「目標」、「学習の窓」、「学習を振り返る」の三段階に分けて学習内容や手順を示している。（全学年）。 ・生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に「日常の書式」や「活用のヒント」を掲載している（全学年）。 <p>○ 使用上の便宜については、次のようになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が学習の見通しをもつことができるよう、目次に「三年間の目標」を掲載している（全学年）。 ・生徒が3年間の学習の見通しをもつことができるよう、3学年を合わせて一冊の合本としている（全学年）。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、明確に識別できる色の組合せにするなど、工夫されている。 			

＜書写の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- ① それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と総ページ数
- ② 硬筆と毛筆の関連を図った教材数
- ③ 国語科との関連を図った教材数
- ④ 日常生活との関連を図った教材数
- ⑤ 発展的な学習に関する内容を取り上げている教材数
- ⑥ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数
- ⑦ 主体的な学習を促す内容を取り上げている箇所数
- ⑧ 姿勢や筆記用具の持ち方を示す写真の数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 毛筆を使用する書写の指導においては、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう配慮することが大切であることから、硬筆と毛筆の関連を図った教材について把握する必要があるため。
- ③ 国語科と関連を図った活動の充実が求められていることから、国語科との関連を図った教材や学習活動の状況について把握する必要があるため。
- ④ 書写の能力を日常的に生かすことが求められていることから、日常生活との関連を図った教材について把握する必要があるため。
- ⑤ 個々の生徒の理解に応じ、きめ細かに指導することが求められていることから、発展的な学習に関する内容を取り上げている教材について把握する必要があるため。
- ⑥ 生徒が興味・関心をもって学習に取り組むことができるよう地域の実態を生かした指導が求められていることから、北海道とかかわりのある内容の掲載状況を把握する必要があるため。
- ⑦ 日常生活における硬筆による書写の能力を高めることが求められていることから、主体的に学習に取り組むことができるような工夫について把握する必要があるため。
- ⑧ 文字を正しく整えて速く書くためには、正しい姿勢や筆記用具の持ち方などに留意することが大切であることから、姿勢や筆記用具の持ち方などを視覚的に示す写真などの記載状況を把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者		東 書				学 図				三省堂			
		学年		1	2	3	資料等	1	2	3	資料等	1	2	3	資料等
①	硬 指導事項ア	8	9	6	-	3	3	1	-	8	7	4	-		
	筆 指導事項イ	3	3	-	-	2	2	-	-	6	3	-	-		
	毛 指導事項ア	5	8	4	-	4	4	5	-	8	6	4	-		
	筆 指導事項イ	5	2	-	-	2	0	-	-	4	4	-	-		
	ページ数		145				122				118				
	前回のページ数		48	59	-		62		-		90		-		
	増減 (%)		36				97				31				
②	硬筆と毛筆の関連を図った教材数 (※1)	7	6	5	0	3	3	1	0	10	7	3	0		
③	国語科との関連を図った教材数	2	4	0	5	1	2	0	0	2	4	0	0		
④	日常生活との関連を図った教材数 (※2)	4	3	2	0	0	0	1	0	2	2	1	0		
⑤	発展的な学習に関する内容を取り上げている教材数 (※3)	0	0	0	1	0	0	0	6	0	1	0	0		
⑥	北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
⑦	主体的な学習を促す内容を取り上げている箇所数 (※4)	15	14	8	0	7	3	0	0	10	8	2	0		
⑧	姿勢や筆記用具の持ち方を示す写真の数 (※5)	4	4	3	11	2	0	0	7	2	0	2	13		

(※1) 調査項目②「硬筆と毛筆の関連を図った教材数」は、毛筆の学習の後、硬筆によるなぞり書きや書き込み欄が位置付けられている教材や毛筆や硬筆による筆記用具を選んで書いたりする教材を対象とする。

(※2) 調査項目④「日常生活との関連を図った教材数」については、東書は「生活に広げよう」(第1、2学年)「生活を豊かにする文字」(全学年)、学図は「書写を生活に生かそう」(第3学年)、三省堂は「生活に生かそう」(全学年)、教出は「学習を生かして書く」(第1、2学年)「学習活動や日常生活に生かして書こう」(第2学年)、光村は「日常の書式」「活用のヒント」「書写事典」(巻末に掲載されており、学年が示されていない)を対象とする。

(※3) 調査項目⑤「発展的な学習に関する内容を取り上げている教材数」については、東書は「発展」、学図は「発展」、三省堂は「発展」、教出は「発展」、光村は「発展」を対象とする。

(※4) 調査項目⑦「主体的な学習を促す内容を取り上げている箇所数」については、東書は「広げよう」「振り返ろう」、学図は「硬筆で書いてみよう」「振り返って」、三省堂は「学習のまとめ」「振り返ろう」、教出は「生かそう」「振り返ろう」、光村は「学習の窓」「学習を振り返ろう」を対象とする。

(※5) 調査項目⑧「姿勢や筆記用具の持ち方を示す写真の数」については、姿勢や筆記用具の持ち方を示している写真を対象とする。

様式 4

※調査項目が網掛けになっている項目は、別記にデータを掲載していることを示す。

調査項目		発行者		教 出				光 村			
				1	2	3	資料等	1	2	3	資料等
①	硬	指導事項ア	7	5	5	-	3	6	3	-	
	筆	指導事項イ	5	6	-	-	4	1	-	-	
	毛	指導事項ア	6	5	6	-	4	5	3	-	
	筆	指導事項イ	8	5	-	-	5	1	-	-	
	ページ数		142				120				
	前回のページ数		56	57		-		76		-	
	増減 (%)		26				58				
②	硬筆と毛筆の関連を図った教材数 (※1)		9	7	5	0	5	4	2	2	
③	国語科との関連を図った教材数		5	8	3	2	4	5	0	0	
④	日常生活との関連を図った教材数 (※2)		5	4	1	1	0	0	0	3	
⑤	発展的な学習に関する内容を取り上げている教材数 (※3)		1	1	1	2	0	0	1	0	
⑥	北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数		1	1	0	1	0	0	1	1	
⑦	主体的な学習を促す内容を取り上げている箇所数 (※4)		20	21	9	0	16	12	4	0	
⑧	姿勢や筆記用具の持ち方を示す写真の数 (※5)		4	4	4	9	4	4	4	8	

(※1) 調査項目②「硬筆と毛筆の関連を図った教材数」は、毛筆の学習の後、硬筆によるなぞり書きや書き込み欄が位置付けられている教材や毛筆や硬筆による筆記用具を選んで書いたりする教材を対象とする。

(※2) 調査項目④「日常生活との関連を図った教材数」については、東書は「生活に広げよう」(第1、2学年)「生活を豊かにする文字」(全学年)、学図は「書写を生活に生かそう」(第3学年)、三省堂は「生活に生かそう」(全学年)、教出は「学習を生かして書く」(第1、2学年)「学習活動や日常生活に生かして書こう」(第2学年)、光村は「日常の書式」「活用のヒント」「書写事典」(巻末に掲載されており、学年が示されていない)を対象とする。

(※3) 調査項目⑤「発展的な学習に関する内容を取り上げている教材数」については、東書は「発展」、学図は「発展」、三省堂は「発展」、教出は「発展」、光村は「発展」を対象とする。

(※4) 調査項目⑦「主体的な学習を促す内容を取り上げている箇所数」については、東書は「広げよう」「振り返ろう」、学図は「硬筆で書いてみよう」「振り返って」、三省堂は「学習のまとめ」「振り返ろう」、教出は「生かそう」「振り返ろう」、光村は「学習の窓」「学習を振り返ろう」を対象とする。

(※5) 調査項目⑧「姿勢や筆記用具の持ち方を示す写真の数」については、姿勢や筆記用具の持ち方を示している写真を対象とする。

別記

様式 4 の調査項目① [指導事項ごとの教材] の具体的な内容

年	項	東 書	学 図	三省堂		
第 1 学年	硬筆	指導事項ア ・点画の書き方と字形 ・楷書に調和する仮名 ・配列 ・配列 ・楷書のまとめ ・目標を書こう ・職場訪問をしよう ・書いて味わおう	P 8 P 14 P 16 P 19 P 22 P 26 P 42 P 46	・硬筆で書いてみよう P 12 ・硬筆で書いてみよう P 24 ・確かめよう P 36	・点画の組み立て方を確かめよう P 10 ・部分の組み立て方を確かめよう P 12 ・学習のまとめ P 14 ・仮名の字形と筆使いを確かめよう P 18 ・文や文章の整え方を確かめよう P 22 ・学習のまとめ P 24 ・行事の目標を書こう P 26 ・本を紹介しよう P 40	
		指導事項イ ・行書の基本的な書き方 ・点画の連続と省略 ・年賀状を書こう	P 28 P 34 P 37	・硬筆で書いてみよう P 34 ・確かめよう P 36	・新しい書体との出会い P 28 ・行書の特徴を見つけよう P 30 ・連続・丸みを確かめながら書こう P 32 ・点画の変化を確かめながら書こう P 36 ・学習のまとめ P 38 ・本を紹介しよう P 40	
	毛筆	指導事項ア ・点画の書き方と字形「大志」 ・楷書に調和する仮名 ・配列「美しい緑」 ・毛筆で書こう ・書き初めをしよう「夢の実現」	P 8 P 14 P 16 P 36 P129	・字形を整えて書こう「天地」「登頂成功」 P 6 ・仮名の特徴を理解して書こう「ぶなの森」 P 18 ・楷書に調和する仮名 P 22 ・書き初めをしよう「輝け未来」 P 41	・文字の整え方を確かめよう P 8 ・点画の組み立て方を確かめよう「春光」 P 10 ・部分の組み立て方を確かめよう「若枝」 P 12 ・学習のまとめ P 14 ・仮名の字形と筆使いを確かめよう P 18 ・文や文章の整え方を確かめよう「夏めく空」 P 22 ・行事の目標を書こう P 26 ・書き初め「輝く生命」 P 85	
		指導事項イ ・行書の基本的な書き方「大洋」 ・点画の連続と省略「和音」 ・毛筆で書こう ・年賀状を書こう ・書き初めをしよう「温故知新」	P 28 P 34 P 36 P 37 P129	・行書の特徴を理解して書こう「栄光」「草原」 P 28 ・書き初めをしよう「自主独立」 P 45	・行書の特徴を見つけよう P 30 ・連続・丸みを確かめながら書こう「名作」 P 32 ・点画の変化を確かめながら書こう「永久」 P 36 ・書き初め「日進月歩」 P 85	
	第 2 学年	硬筆	指導事項ア ・形や方向の変化 ・点画の連続と筆順の変化 ・行書のまとめ ・行書に調和する仮名 ・行書と仮名の調和 ・配列 ・好きな言葉を書こう ・配列 ・書いて味わおう	P 48 P 50 P 52 P 56 P 59 P 63 P 64 P 70 P 80	・硬筆で書いてみよう P 62 ・硬筆で書いてみよう P 70 ・確かめよう P 72	・行書の特徴と筆使いを確かめよう P 44 ・省略・筆順の変化を確かめながら書こう P 48 ・学習のまとめ P 50 ・行書に調和する仮名の特徴を見つけよう P 52 ・文や文章の整え方を確かめよう P 56 ・学習のまとめ P 58 ・手紙を書こう P 60
			指導事項イ ・好きな言葉を書こう ・楷書と行書の使い分け ・防災訓練に参加しよう	P 64 P 68 P 72	・硬筆で書いてみよう P 70 ・確かめよう P 72	・生活の場面と書体について考えよう P 62 ・学習のまとめ P 65 ・座右の銘を書こう P 66

第2学年	毛筆	指導事項ア	<ul style="list-style-type: none"> ・形や方向の変化「詩集」 P 48 ・点画の連続と筆順の変化「国際社会」 P 50 ・行書のまとめ P 52 ・行書に調和する仮名 P 56 ・行書と仮名の調和「流れる雲」「豊かな自然」 P 59 ・好きな言葉を書こう P 64 ・配列 P 70 ・書き初めをしよう「感謝する心」「信念を貫く」 P133 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の特徴を理解する「雲海」「紅葉林道」 P 56 ・楷書に調和する仮名との違いに注意して書こう「親しい友」 P 64 ・行書に調和する仮名 P 68 ・書き初めをしよう「宇宙の神秘」 P 77 	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の特徴と筆使いを確かめよう「再会」 P 44 ・省略・筆順の変化を確かめながら書こう「雪花」 P 48 ・行書に調和する仮名の特徴を見つけよう P 52 ・文や文章の整え方を確かめよう「自然を楽しむ」 P 56 ・学習のまとめ P 58 ・書き初め「燃ゆる思い」「温故知新」 P109
		指導事項イ	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな言葉を書こう P 64 ・防災訓練に参加しよう P 72 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活の場面と書体について考えよう P 62 ・学習のまとめ P 65 ・座右の銘を書こう P 66 ・書き初め P109
第3学年	硬筆	指導事項ア	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な文字 P 82 ・ノートに書くときに P 86 ・絵はがきや電子メールを出すときに P 88 ・ポスターを作るときに P 90 ・文化祭や卒業に向けて P 92 ・書いて味わおう P 98 	<ul style="list-style-type: none"> ・書写を生活に生かそう P 86 	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの文字の工夫を見つけよう P 70 ・学習のまとめ P 72 ・卒業記念冊子を作ろう P 74 ・書き初め P113
		指導事項ア	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な文字 P 82 ・ポスターを作るときに P 90 ・文化祭や卒業に向けて P 92 ・書き初めをしよう「希望に輝く春」「生命を尊ぶ」 P137 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに学習したことを振り返ろう「心のふれ合い」「全力を尽くす」 P 82 ・書写を生活に生かそう P 86 ・作品を作ろう P 94 ・書き初めをしよう「大志を抱け」 P101 ・書き初めをしよう「旅立ちの春」 P105 	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの文字の工夫を見つけよう P 70 ・学習のまとめ P 72 ・卒業記念冊子を作ろう P 74 ・書き初め「旅立ちの時」「山光澄我心」 P113

別記

様式 4 の調査項目① [指導事項ごとの教材] の具体的な内容

学年	項	教 出	光 村	
第 1 学年	硬筆	指導事項ア ・筆使いと字形 P 14 ・学習を生かして書く－字形、筆順－ P 18 ・筆脈 P 22 ・楷書に調和する仮名 P 24 ・学習を生かして書く－行の中心－ P 26 ・学習を生かして書く－配列－ P 30 ・学校生活に生かして書く P 36	・漢字の字形 P 12 ・楷書と仮名のまとめ P 18 ・季節のしおり 1 P 32	
		指導事項イ ・点画の連続と変化 1 P 46 ・点画の連続と変化 2 P 48 ・点画の連続と省略 P 50 ・学習を生かして書く－行書の特徴－ P 52 ・学習を生かして書く－配列－ P 54	・行書の特徴 P 22 ・点画の方向や形の変化 P 26 ・点画の連続 P 28 ・行書の練習 1 P 30	
	毛筆	指導事項ア ・筆使いと字形「天地」 P 14 ・筆脈「いろは歌」 P 22 ・楷書に調和する仮名 P 24 ・学校生活に生かして書く P 36 ・書き初めを書く「新たな決意」 P 57 ・一年間の学習のまとめ P 61	・漢字の筆使い P 10 ・平仮名の筆使いと字形 P 14 ・文字の大きさと配列 P 16 ・書き初め「将来の夢」 P 99	
		指導事項イ ・楷書と行書の違い「和」 P 42 ・行書の筆使い「大」 P 44 ・点画の連続と変化 1「大木」 P 46 ・点画の連続と変化 2「栄光」 P 48 ・点画の連続と省略「平和」 P 50 ・学習を生かして書く－配列－ P 54 ・書き初めを書く「天地清新」 P 57 ・一年間の学習のまとめ P 61	・行書の特徴「緑」 P 22 ・点画の方向や形の変化「木立」 P 26 ・点画の連続「月光」 P 28 ・行書の練習 1 P 30 ・書き初め「不言実行」 P 99	
	第 2 学年	硬筆	指導事項ア ・行書と仮名の調和 P 76 ・行書に調和する仮名 P 78 ・書く速さを意識して書く P 86 ・学習を生かして書く－行書と仮名の調和と配列－ P 88 ・さまざまな書く場面 P 92	・点画の省略 P 34 ・筆順の変化 P 36 ・行書の練習 2 P 38 ・行書と仮名の調和 P 40 ・行書と仮名のまとめ P 44 ・季節のしおり 2 P 48
			指導事項イ ・点画の連続と省略 1 P 68 ・点画の連続と省略 2 P 70 ・点画の省略と筆順の変化 P 72 ・学習を生かして書く P 74 ・さまざまな書く場面 P 92 ・学習を生かして書く P 96	・楷書と行書の使い分け P 46

第2学年	毛筆	指導事項ア	<ul style="list-style-type: none"> ・行書と仮名の調和「喜びの声」 P 76 ・行書に調和する仮名「いろは歌」 P 78 ・文字の大きさと配列 P 80 ・さまざまな書く場面 P 92 ・書き初めを書く「夢を信じる」 P133 	<ul style="list-style-type: none"> ・点画の省略「調和」 P 34 ・筆順の変化「紅花」 P 36 ・行書と仮名の調和「夕映えの空」 P 40 ・行書に調和する仮名 P 42 ・書き初め「新たな目標」 P111
		指導事項イ	<ul style="list-style-type: none"> ・点画の連続と省略1「初志」 P 68 ・点画の連続と省略2「雲海」 P 70 ・点画の省略と筆順の変化「開花」 P 72 ・さまざまな書く場面 P 92 ・学習を生かして書く P 96 	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書と行書の使い分け P 46
第3学年	硬筆	指導事項ア	<ul style="list-style-type: none"> ・点画の変化と連続 P102 ・行書と仮名の調和 P104 ・学習を生かして書くー配列ー P106 ・多様な表現による文字 P108 ・三年間の学習の成果を生かそう P110 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を効果的に使うために P 50 ・三年間のまとめ P 54 ・未来に向かって P 56
		指導事項ア	<ul style="list-style-type: none"> ・点画の変化と連続「創造」 P102 ・行書と仮名の調和「旅立ちの朝」 P104 ・学習を生かして書くー配列ー P106 ・多様な表現による文字 P108 ・三年間の学習の成果を生かそう P110 ・書き初めを書く「友好の精神」「新春に誓う」 P137 	<ul style="list-style-type: none"> ・三年間のまとめ P 54 ・未来に向かって「輝ける未来へ」 P 56 ・書き初め「無限の可能性」「初富士を望む」 P115

別記

様式4の調査項目③〔国語科との関連を図った教材〕の具体的な内容

発行者	学年	領域又は単元名（教材名）	国語とかかわりのある内容	ページ
東 書	第1学年	配列	「さんきち」	19・20
		書いて味わおう	「竹取物語」	46
	第2学年	しょしゃのたね	「いろは歌」（第1学年の教材）	58
		配列	「枕草子」	63
		配列	「走れメロス」	70
		書いて味わおう	「平家物語」	80
	資料等	姿勢・筆記具の持ち方	「竹取物語」（第1学年の教材）	5
		季節の言葉	山部赤人の和歌（第3学年の教材）	141
			西行法師の和歌（第3学年の教材）	142
			在原業平の和歌（第3学年の教材）	143
	源宗于の和歌（第3学年の教材）		144	
学 図	第1学年	確かめよう	「竹取物語」	38
	第2学年	硬筆で書いてみよう	「少年の日の思い出」（第1学年の教材）	54
		硬筆で書いてみよう	「枕草子」（第3学年の教材）	70
三省堂	第1学年	活字と手書き文字	「衣」「北」「入」「子」「近」の各書体の漢字	17
		学習のまとめ	「竹取物語」	24
	第2学年	行書に調和する仮名の特徴を見つけよう	石川啄木の短歌	52
		学習のまとめ	「小さな手袋」	58・59
			「人間は他の星に住むことができるのか」	
		学習のまとめ	俵万智の短歌	65

教 出	第 1 学年	ふしぎ	「ふしぎ」	10	
		楷書に調和する仮名「いろは歌」	「いろは歌」	24・25	
		学習を生かして書く－行の中心－	「竹取物語」	26・27	
		学習を生かして書く－配列－	読書感想文「『バッテリー』を読んで」	30	
		学校生活に生かして書く	合唱発表会の掲示物（ポスター）	36	
	第 2 学年	文字の大きさと配列	「論語」	80	
			紀貫之の和歌（第 3 学年の教材）	82・83	
			若山牧水の短歌		
			斎藤茂吉の短歌		
		書く速さを意識して書く	「走れメロス」	86・87	
		学習を生かして書く－行書と仮名の調和と配列－	「枕草子」	88・89	
			「平家物語」	90・91	
	学習を生かして書く	生徒作成の新聞「横浜みなとみらい新聞」	96		
	第 3 学年	学習を生かして書く－配列－	「おくのほそ道」の冒頭	106・107	
			松尾芭蕉の俳句「五月雨を・・・」		
			松尾芭蕉の俳句「あかあかと・・・」		
	資 料 等	文字は残る	「蜘蛛の糸」（第 1 学年の教材）	34	
		書式の教室	職場体験のお礼の手紙（第 2 学年の教材）	114	
	光 村	第 1 学年	平仮名の筆使いと字形	「いろは歌」	14
			季節のしおり 1	「さくらさくら」	32・33
「紅葉」					
「冬が来た」					
第 2 学年		行書に調和する仮名	「いろは歌」	42～44	
			「平家物語」	45	
		季節のしおり 2	「枕草子」	48	
			中村汀女の俳句		
			持統天皇の和歌		

別記

様式4の調査項目⑥〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

発行者	学年	領域又は単元名（教材名）	北海道とかかわりのある記述内容	ページ
東 書	第1学年	表紙のページ	クラーク像の写真	7
		年賀状を書こう	「北海道」の記述とマーク	38
	第3学年	しょしゃのたね	「塩狩峠」の石碑	84
教 出	第1学年	学習を生かして書く－配列－	「北海道」の記述	55
	第2学年	学習を生かして書く	「北海道新聞」（新聞の題名）	97
	資料等	書式の教室	札幌市中央区北23条西1－1－44 （小包の伝票）	119
光 村	第3学年	デザインと文字	昭和27年の札幌市営観光バスの広告	53
	資料等	はがきの書き方	都道府県行書一覧に北海道の記載	65